

インディアナ日本語学校便り

だいごう
第2号

令和6年4月27日事務所 317-255-1631 メール ijls@indiana-j-school.net

(HP) <http://www.indiana-j-school.net>

校長 森 勝義

「2024年度小学校教科書改訂」 ～2025年度中学校、2026年度高等学校改訂～ (保護者の方々は第二の教師)

校長 森 勝義

先週、無事に入園・入学式、始業式を開催することができ、ここインディアナ日本語学校も順調なスタートを切りました。小学部においては、今年度（2024年度）教科書改訂の年となりました。すでにお子様の手元に渡っています。保護者の皆様は、ご家庭で教師となり、お子様と一緒にすべての教科書を手に取っていただき、学習支援をお願いしたいです。

日本語学校は【国語】【算数】【社会】の3教科を学習しています。この3教科は確実に実践していただきたいです。

教科書は10年ごとに大改訂があり、(学習指導要領)、4年ごとの改訂は小改訂と呼ばれています。今回は大幅な変更はありませんが、今回の改訂で注目すべき教科はふたつあります。1教科目は「小学英語」です。2020年度の単語数より大幅に増加しています。つまり、小学5・6年で増加し、中学1年に繋げようとの意図です。日本では「デジタル教科書」が導入されました。デジタル教科書は何度も書き込みが可能になったり、簡単に音声を確認できたりと、学ぶ上でメリットとはあります。

2教科目は「プログラミング」です。小学校のプログラミング授業はすでに低学年から導入されています。低学年はPCを使わずに、カード教材などを使って「プログラミング的思考」を学んでいました。2024年度から教科書として位置づけられ、PCを使った簡単な授業でプログラミングを学び、中学につなげていきます。このことは今後、大学入試でプログラミングの知識が必要になることが背景になっています。

日本の小学校授業日数は、年間約200日。日本語学校の授業日数は年間42日、そのうち2回は(運動会・卒業卒園式)に費やされ、40日となります。40回の授業で1年分のカリキュラムを教えることとなります。必然的に宿題や課題が増え、進度が速くなる単元もあります。

日本語学校の先生方は、3月16日に、新しい教科書を手にして、旧教科書と新教科書を対比しながら、今年度の授業カリキュラムを組まれています。しっかりと教材研究をされ、子どもたちに、いかに分りやすい授業をしていくか、日々研鑽、研修を重ねています。もちろん同学年担任間や他学年との情報共有も大切なツールとなっています。

子どもたちは、現地校と日本語学校の両立、日本文化とアメリカ文化の間で苦勞しながらも、健気に頑張っています。保護者の方々に心配かけないように、自分自身、心が折れそうなことがあっても乗り切ってきて、今に至っています。土曜日の朝、笑顔で登校してくる園児児童・生徒を見ると、胸にこみ上げてくるものがあります。「ああ、家庭学習では、まず現地校の宿題、そして日本語学校の宿題に取り組んでいるんだらうな」と感心します。

ご家庭の深いご理解と、多大なご協力をこれからもお願いいたします。

インディアナ日本語学校へ入園・入学された幼稚部・小学一年生の皆さん、おはようございます。今日は、入学おめでとうでございます。私は運営委員会委員長の鳥見直と言います。今日は皆さんと会うことができ、とても嬉しいです。

皆さんは、いつもはアメリカの学校に通う人も多いと思います。さらに、土曜日までこの日本語学校で勉強する皆さんは、とても偉いなあと感心します。

それと、この学校では勉強だけでなく、友達とたくさん一緒に遊んでください。もし困っている友達がいたら、優しく助けてあげてください。きっとそのお友達と仲良くなれると思います。勉強も遊びもこの学校で思いっきり楽しんでください。

保護者の皆様、本日は誠におめでとうでございます。まだ小さなお子様ですが、このような節目を迎えて、子供たちをご覧になられますと、成長を実感し、大変喜ばしいことかと存じます。10年以上前に私の子供たちもインドで幼稚園・小学校へ入園・入学した経験があります。異国での生活は不都合を感じる人が多いと思いますが、こういった日本語学校で他のご家族と知り合い、日本帰国後も相談相手ができる機会がございました。皆様もインディアナ日本語学校での出会いを通じて今後の生活を豊かにして頂ければと思います。

また、森校長をはじめ、教職員各位におかれては、子供の教育にご尽力を賜り、誠にありがとうございます。学校・保護者・運営委員会のお互いが敬い助け合い、子供たちの成長を見守っていただけることを願っております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

以上、簡単ではございますが、お祝いのことばとさせていただきます。ありがとうございました。



ヒゲ森の言葉の森・探検



いちげん こじ

一言居士

どのようなことにも、自分の意見を言わずにいられない人。「居士」は出家をせずに家庭で仏教の修行を行う者。

怒りの静まるとき

後悔がやってくる。

ソフォクレス

紀元前497年〜紀元前405年古代ギリシャの劇作家。

怒りから行動に移すと、怒りが静まるとともに後悔することになるので、要注意。